

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0 1 9 1 0 0 0 5 8		
法人名	株式会社ユニマツトそよ風		
事業所名	江別ケアパークそよ風グループホーム		
所在地	江別市 1 条 3 丁目 1 2 - 2		
自己評価作成日	平成26年2月28日	評価結果市町村受理日	平成26年3月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=0191000058-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・終末期ケアの実施に向けて、書類準備・職員への指導等行っております。 ・他グループホームに比べ高額な食事代を頂戴しておりますが、値段相応以上のクオリティで提供出来ていると自負しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北 1 条西7丁目1番あおいビル7階
訪問調査日	平成 26 年 3 月 10 日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

JR江別駅から徒歩2分の複合施設にある2ユニットのグループホームです。建物は5階建てで、有料老人ホーム、ショートステイ及びデイサービスが併設され、3階部分の半分が当グループホームとなっています。事務所を中心に2ユニットが1フロアにあり、利用者はお互い気軽に交流することができ、職員の協力もしやすくなっています。共用空間は広く清潔で、浴室やトイレも使いやすく造られています。日曜日にデイサービスの温泉入浴施設が利用できたり、施設全体のレクリエーション活動に参加できるなど楽しみの幅が広がっています。運営推進会議に多数の家族が参加し、定期的に満足度調査を行って家族の意見を運営に反映しています。職員は利用者に優しく穏やかに声掛けており利用者もゆったりと過ごすことができています。食事の面では誕生日に希望を採り入れたり、月2回、施設全体での季節の食事が提供されるなど、利用者の楽しみとなっています。入浴の面でも、使いやすい浴室を整備し、希望に合わせて入浴可能時間を午前にも広げる検討を行っています。
--

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができて いる (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・グループホーム玄関・事務所内に掲示し、朝礼時に復唱しております。	法人の理念である「そよ風憲章」の他にホーム独自の理念を作り、独自の理念の中で地域住民との交流も掲げています。共用部分に掲示し共有化を図っていますが、独自の理念についての職員全員の共有は十分といえません。	ホーム独自の理念について全員の共有化が図られるよう、確認する機会を増やしたり、より分かりやすい文言を検討するなどの取り組みを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・施設の夏祭り等にお越し頂いております。 ・町内会の新年会に参加し、近隣の方々との顔合わせ等行っております。	施設の夏祭りに地域の方が参加したり、地域のお祭りや焼き物祭りに利用者と参加しています。傾聴ボランティアや幼稚園児の来訪もあります。同一建物のショートステイやデイサービスの利用者とも合同行事で交流しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・施設内見学を通じ、相手のニーズに合わせた説明を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・定期的に行っており、ご家族と地域の会話を通じて理解を深めていく関わりを行っています。	会議は2ヵ月毎に開催され、地域包括支援センターや市の担当者、家族が参加していますが、地域の方の参加はあまり得られていません。後見人制度や看取り、金銭管理、外部評価などのテーマを設定し、意見交換しています。	町内会関係者や民生委員、近隣の事業所など、地域の方へ幅広い参加の呼びかけと参加の実現を期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・月1回の現況報告の他。運営推進会議への参加呼び掛けを都度行い、結果の報告を行っております。	運営推進会議に市や地域包括支援センター職員の参加を得ており、事業所の契約書作成などについて市の担当者に相談しています。市のグループホームの有志の会「あおいの会」でも行政担当者と情報交換しています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・施設内研修等で、身体拘束を行わない様指導を行っております。 ・ユニット玄関の戸を、日中開放しております。	身体拘束はなく、禁止の対象となる具体的な行為を記したマニュアルを整備し、勉強会を開催して理解を促しています。エレベーターホールにつながる入り口は日中施錠せず自由に出入りすることができ、利用者を見守ることで出入りを把握しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・施設内の虐待防止委員会に、リーダー職員が参加しております。 ・日々の業務において、不適切ケア疑い事案について指導しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・施設内研修および会議等にて、勉強の機会を設けております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・十分な説明を行う事を前提とし、不安・疑問点について伺い、回答を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営推進会議において、入居者様・御家族様の意見・要望を聞き対応しております。 ・運営推進会議に参加できない御家族様に対しては、事前案内状にコメント記入欄を設けることで、意見・要望の吸い上げを行っております。	運営推進会議で多くの家族から意見を得るほか、家族の来訪時などに意見を得て、連絡ノートで共有しています。法人で2年に1回程度、満足度調査を行っています。また、3ヵ月毎にホーム便りを作成し、利用者の様子を家族に伝えています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・月1回のユニット会議、および全体会議において、都度疑問・不安等を聴きとり、対応しております。	月1回ユニット会議を行い、2ヵ月に1回全体会議を行って活発に意見交換しています。管理者と職員は随時の面談を行っています。職員は施設の支配人にも相談することができます。また、職員は広報や研修、給食、レク、夏祭り、衛生などの業務を分担し、運営に参加しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・職員一人一人の力量を把握し、勤務状況とのバランスを理解することで、各自が向上心を持って働ける状態を作っていける様に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・外部研修の案内を行い、参加の呼び掛けを行っております。 ・社内研修を、年間計画に基づき行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・市内グループホーム事業者との関わりの機会を設けております。その中から、事業者間の連携によるイベント企画に携わっております。（入居者様間の交流会、一般市民対象の”認知症講座”等）		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・御本人の希望・要望に耳を傾け、安心・納得される様に心がけております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・契約時・入居後・その他都度、不安は無いか確認し、納得されるまで説明・傾聴し、密な関係作りに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談内容に応じて、対応を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・御自宅に居る様な生活・・・を感じて頂ける様に心がけております。具体的には、御本人ができる事を、職員と一緒にしております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・御家族の意見を常に念頭に置き、御家族と一緒に支えていける様に努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・御家族および御友人の方が気軽にきて頂ける様、声掛け等行っております。	知人や友人の来訪があり、利用者への電話を取り次いでいます。家族と共に美容院や外食に出かける方もいます。大型ショッピングセンターへの買い物支援も行っており、今後は近くに新しく出来た農産物販売所へにも気軽に出かける予定です。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・皆様で過ごす時間を多くとれるように、又楽しく過ごされる様に関わりを行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・御本人・御家族の要望に応じて、対応を行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・アセスメントにおいて、御本人の思い・御意向の把握に努めております。	希望を言葉で表現できる方は減っていますが、難しい場合も表情や仕草などから把握しています。基本情報シートを整備し、アセスメントシートを定期的に更新して共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・事前情報を確認した上で、現状について御本人・御家族に確認をして状況の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・日々の様子を記録し、総合してアセスメントに活かしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・御本人・御家族の要望を基に、介護職員その他関係者の意見を集約した上で、本人本位の介護計画を作成する様意識しております。	介護計画は3～6ヵ月毎に更新しています。3ヵ月毎のモニタリングをもとにカンファレンスを行って意見を集約し、次の計画を作成しています。同時に介護援助計画を作成し、日々のケアの中で気づいた点を援助計画の評価欄に記載して次の計画作成に活かしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・排泄状況・食事の様子・バイタル等を、一覧の書式に記入している他、特記事項については別紙介護記録に遺しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・人員配置等の制約上、対応出来る範囲内ではありますが、個別に対応出来る様に意識しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・社協のボランティア派遣を利用したり、NPO法人の体操活動を利用したりと、外との関わりを少しずつ増やしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・提携医療機関による定期往診対応の他、個別の病院受診については御家族との話し合いのもと、必要に応じて付き添い支援等させて頂いております。	協力医療機関による2週に1回の往診を受けています。その他に4名が個々のかかりつけ医を受診しており、必要に応じて事業所で通院を支援しています。受診内容は看護日誌や生活記録に記載し、共有しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・週1回の看護師出勤の際に、情報伝達・相談を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・御本人・御家族の御意向のもとに、病院関係者との話し合いの場面に参加させて頂いております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・看取り指針を提示し、全入居者様および御家族様の同意を頂いております。個別の方針については、現在取り組み中です。	利用開始時に「重度化した場合の対応・看取り対応に関する指針」を説明し、書類を取り交わしています。24時間対応可能な医師を確保したり、職員の研修を進め、今後見込まれる看取り介護に向けて体制を整備しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・緊急時対応のマニュアルを作成、事務所内に掲示しております。その他、会議時に個別事例に対する留意点等話し合い、申し送りを行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・避難訓練を定期的の実施し、火災の訓練の他、地震・風水害を想定した複合的な訓練の実施も検討しております。	年2回を目途に夜間を想定した避難訓練を消防や地域の協力のもと行い、風水害の訓練も予定しています。災害時に必要な水や食料などの備蓄品も用意しています。一方、職員の定期的な救急救命訓練の受講は十分といえません。	全職員が定期的に救急救命訓練を受講できるよう、計画的な取り組みを期待します。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・個々の人格・プライドを損なわない様に、その人にあった声掛けを意識しております。	「さん」づけを基本に利用者の人格を尊重した声かけをしており、「接遇マナー」を事務所に掲示し、人格の尊重に努めています。気になる対応があればその都度注意しています。個人ファイルは事務所に適切に保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・御本人の思いや希望が叶えられる様に声掛けを行い、自己決定が出来る様に環境を整えております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・出来る限り御本人の希望に沿える様に、無理強いはいしない様にしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・更衣・整容に気を配り、都度声を掛けております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・入居者様の好みを把握しております。 ・食後の後片づけ・茶碗拭き等お手伝い頂いております。	利用者が食器拭きやお盆拭き、お茶入れなどを手伝っています。職員も利用者と一緒に楽しく食事を摂っています。普段は独自に献立を作り、月2回は施設全体での季節の食事が提供されます。誕生日に希望を聞くこともあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・日々の観察結果を記録し状態把握をした上で、適切な食事量・水分量に近付ける様、試行しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・スポンジブラシ、義歯洗浄用ブラシ等、個々の状態に応じた方法で口腔ケアを行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・一人一人の排泄パターンを把握した上で、トイレ誘導を声掛けにて行っております。	排泄水分チェック表によりパターンを把握して、誘導や声掛けが必要な方はさりげなく誘導しています。日中は布パンツ着用とし全員がトイレを利用しています。夜間は睡眠を優先しながら個々の状態に合わせた対応をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・毎日の排便状態を把握し、状態に応じて食事・水分の調整を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	・体調に応じて、曜日・時間を厳密には決めずに、極力御本人の要望に沿える様に行っております。	毎日、概ね午後の時間帯で各利用者が週2～3回程度入浴しており、今後は午前も対応する意向です。入浴を拒む場合でも翌日に変更して対応しています。入浴剤を使ったり、日曜日にデイサービスの天然温泉を利用しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・体調に応じて、適宜昼寝等をお勧めしながら、生活のリズムを大幅に崩される事の無い様に心がけております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・一人一人の服薬内容を把握・確認をおこない、服薬前に誤薬の無い様に職員2名以上での確認を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・食器拭き・掃除等、ご自身で出来る事は手伝って頂き、レクリエーション等で気分転換を図れる様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・外出レクリエーションの企画を行うも、体調不良の方が相次ぐ等により、中々お応えできていない現状です。	雪のない時期は車いすの方も含め、周辺を散歩したり1階の玄関前広場や中庭で外気浴をしています。年間行事では夏祭りや焼き物市の見学、観光農園、外食などに出かけています。冬は外出が減りますが、ホーム内や建物施設内をなるべく歩くようにしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お小遣いは事務所にてお預かりさせて頂いております。御本人の希望に極力沿える様、御家族様個別に説明・理解を求めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・御本人の要望に、対応させて頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・装飾品・ポスター等、季節の移り変わりを感じて頂ける様工夫しております。 ・季節に応じ、温度・湿度の調整を行っております。	事務所を中心に2ユニットが1フロアにあり、利用者や職員がお互い気軽に交流することができます。共用空間は広く清潔で、浴室やトイレも広く使いやすく造られています。絵画や季節の装飾、利用者の貼り絵や塗り絵などの作品が飾られ、鯉の水槽もあり、家庭的な雰囲気となっています。窓が多くて明るく、温度や湿度も調整されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・好きな場所でテレビを見たり、読書をしたり、自室に居られたり・・・と、自由に過ごされる様にしております。職員は入居者様間の関わり合いを見守り、トラブルが無く過ごされる様に気を配っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・御本人の使い慣れた物・家具等、御家族と相談しながら工夫をしています。	居室は広く清潔で、利用者の使い慣れた家具や小物類が自由に持ち込まれ、居心地良く過ごすことができます。3階のため外の眺めも良好です。壁には家族の写真、カレンダーなどを自由に飾りつけしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下・トイレ・浴室など、手摺を設置し対応しております。		